





































権現堂(こんげんどう)

重要文化財
国指定 昭和56年6月5日

権現堂が高野王に寺社の建立を建言したことから 1614年(慶長19)
桃林寺と同時に創建された。祭神は熊野権現を勧請したもので、八雲山
における寺社建立のはじめであり、貴重な文化遺産である。切妻造りの
茅葺門、堂内に土間を取り込み両脇に祭壇を配した拝殿、棟上の火部室
球、意匠等細部手法に特色をもつ神殿からなり、それぞれが軸線上に建
造されている。加神体の宝鏡は銅製で地球最古のものといわれ、ほかに
木彫りの仏像も併祀されている。1771年(明和8)の天津波により消滅
したが、1786年(天明6)に再建された。その後、1882年(明治15)神
殿を改建、1910年(同43)に一部修復された。太平洋戦争で大破したが、
1947年(昭和22)に修復、1973年(同48)、1978年(同53)に部分修理
をくり、1985年(同60)、茅葺門、拝殿、麻松を含む神殿及び石礎を修
復した。

昭和61年1月吉日

石垣市教育委員会







































































仲筋井戸 (ナージカー)

その昔、仲筋村の村建ての神である新志花重成(アラレバナカサナリ)が飼っていた犬が、干ばつにもかわからず尻尾を濡らしていたことで、発見された井戸と伝えられています。身人は、正月の「若水や度湯」としてこの井戸水を利用してきました。一九七六(昭和五二)年に石垣島からの供給源として利用されていた貴重な井戸でした。

仲筋井戸
 仲筋、奥入道、ナギサ、仲筋村の村建ての神
 新志花重成(アラレバナカサナリ)が飼っていた
 犬が、干ばつにもかわからず尻尾を濡ら
 していたことで、発見された井戸と伝え
 られています。身人は、正月の「若水や度湯」
 としてこの井戸水を利用してきました。
 一九七六(昭和五二)年に石垣島からの
 供給源として利用されていた貴重な井戸
 でした。

井戸
 Legend tells that the dog was discovered long after other
 Anishinaabe hunters' dogs. (Whether it is the dog who
 took Nakajima's village, was found with its tail wet
 though the wind was blowing from a drought. Water
 from the well has long been used by residents to give
 their babies baths. They first built, and in January 1976
 they were repaired for Nakajima's 100th.
 It was also important for residents at Nakajima who
 used 1976 when an underground pipe was laid to
 provide fresh water from Nakajima Island.



Nagasaki



















































































